

有壬記念医学生研究奨励賞受賞報告

新潟地域医療学講座 井口清太郎

平成 30 年 7 月 3 日(火)午後 7 時より、新潟大学有壬記念館において有壬記念医学生研究奨励賞の授賞式が執り行われ、一昨年度、当講座において医学研究実習を行った 4 名の発表が同賞を受賞した。これらの研究成果は昨年 8 月に札幌市で開催された第 49 回日本医学教育学会大会において発表されたものであり、その内容は下記の通りである。

○波形 ありさ…中山間豪雪地域における高齢者の運動と抑うつの関係～魚沼市「生活環境と健康に関する聴き取り調査」より～

○齊藤 朋子…地区ごとの高齢者の転倒率と歯の状態の関係～魚沼市「生活環境と健康に関する聴き取り調査」より～

○小林 佑輝…魚沼地域における高齢者の筋力低下と運動習慣の関係～魚沼市「生活環境と健康に関する聴き取り調査」より～

○小野 仁志…うつ、主観的健康感とソーシャルキャピタルの関連～魚沼市「生活環境と健康に関する聴き取り調査」より～

この研究は、医学生が魚沼市須原地域に平成 29 年 1 月～2 月の 4 週間滞在し、同地域の高齢者一軒ずつに対面によるアンケート調査を行ったものである。内容はソーシャルキャピタルと健康に関するものであり、上述のように多岐にわたるものであった。

有壬記念医学生研究奨励賞は今年は学内から 19 演題が受賞することができたが、そのうち 4 演題が当講座に関係するものであった。参加してくれた 4 名の内、齊藤さんは現在、魚沼地域で実習を行っており、授与式に出席することはできなかった。授与式に参加した 3 名は受賞のスピーチで、それぞれ研究についての感じたこと、現在の実習にも役立っていることなどを話してくれた。この研究を通じて、地域社会全般を理解することの一助になればと考えている。授与式の後の懇親会・祝賀会では、他の発表者や、学士会名誉会員、OB とも懇談し、大いに激励され、かつ学ぶところがあったものと思われる。

